



- をおこないます。
- 2 私たちは、患者様の立場や権利を尊重し、患者様中心 の医療をおこないます。
- 3 私たちは、良質で安全な医療を提供します。
- 私たちは、常に改革心を持ち、健全な経営をめざします。

- ■新年のご挨拶 · · · · · · · 1
- 障害者病棟について ······ 2
- 飲み込みの障害の原因になるもの・・3
- 医療相談室のご案内 ・・・・・・・ 4

- 弁護士講演会 · · · · · · · · 4 ■職場紹介「西6」「企画課」…5
- ■学会報告(国立総合医学会)·· 6 クリスマスコンサート・・・・・・ 6





新年ので挨拶





院長沼尾利郎

あけましておめでとうございます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は医師不足(正しくは勤務医不足)や救急医療が日本全体の社会問題となりましたが、当院にとっても大きな変化の年でした。年初には看護師不足となり一時は病棟変更もあり得るほどでしたが、何とか必要最少限の人数を確保して病棟の維持ができました。その後は職員全員の努力により、看護師数は確実に増えています。

一方、様々な施設基準の上位取得により診療点数が上がり、病床利用率も高くなって病院の経営状況は好調に推移しています。しかし、国立病院機構の使命としては単に病院経営の面だけでなく、より質の高い安全な医療を患者さんの目線に立って提供することも求められています。

当院は、上野元院長が病院の将来設計について大きな決断をされ、吉武前院長が確固たる決意をもって「病院改革プロジェクト」をスタートし、現在に至っています。私には、病院管理者として上野先生や吉武先生のような経験や能力はありませんが、「NHO宇都宮病院をいい病院にしたい」「患者さんから信頼され、職員にとっても働きがいのある病院にしたい」という強い気持ちがあります。

病院の様々な改革はこれからも継続する必要があり、そのためには職員1人ひとりが職場での自分の役割と地域における病院の役割を自覚して行動することが大切です。近隣の医療機関や福祉施設などとの連携をより推進させながら、政策医療(重症心身障害者医療や結核など)と地域医療に貢献すべく努力いたしますので、皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

障害者病棟について 神経内科医長 伊藤雅史

平成19年4月に私が当院に赴任した当初は、東6病棟はまだ開棟されたばかりの時期であり、複数の科が 混在する混合病棟でした。その後、病棟のあり方について院内での議論を経てから、平成20年11月1日より 特殊疾患入院施設管理加算を算定できる施設基準を取得するに至りました。

この施設基準を取得した経緯としては、栃木県には教育機関病院以外で神経難病を積極的に受け入れてい る病院がほとんどない事がその理由の一つでした。神経内科疾患の初期診断や急性期治療の責務を担う総 合病院は多数存在しますが、診断確定後や慢性・終末期の入院や在宅支援に対応できる病院がほとんどない のです。現在のところは大学病院が何とか慢性期にも対応していますが、大学病院の本来の役割は診断確定 や急性期の対応です。当院は国立病院機構という立場上、老人保健施設や老人ホームなどの介護施設での対 応が困難な患者さんや、在宅にてぎりぎりの介護をしている神経難病の患者さんやその家族に対して、微力 ではありますがお役に立てればと考えた次第です。

以下に、特殊疾患入院施設(いわゆる障害者病棟)についての紹介をさせていただきます。対象患者さんは 、旧重度の肢体不自由者(脳卒中、認知症が原因の場合は除外)、用脊髄損傷等の重度障害者、火重度の意識 障害者(JCS)の以上、またはGCS8点以下が2週間以上持続している閉じこめ症候群・無動性無言状態・ 失外套症候群の状態。以上の意識状態に対しては原因疾患の制限なし)、必神経難病患者(筋ジストロフィー・ 多発性硬化症・重症筋無力症・筋萎縮性側索硬化症・脊髄小脳変性症・パーキンソン病関連疾患〔重症度におい て制限あり〕・多系統萎縮症・プリオン病・スモン・亜急性硬化性全脳炎・もやもや病)であり、上記疾患が入院患 者数の概ね7割以上を占めることが条件となります。現在では、7~8割程度条件を満たしている状態となっ ています。

神経難病疾患の本格的な受け入れはまだスタートしたばかりですが、東6病棟のスタッフー同は身を削りな がら(体重は変わらないように見えますが…)看護業務に精一杯努めておりますので、皆さんのご理解とご協 力をよろしくお願いいたします。



飲み込みの障害の原因になるも

言語聴覚士 伊澤雅子

昨年は食べ物に関する事件・事故が相次いで起こりました。その中の一つ、カップ入りゼリーによる窒息死亡事故 は社会問題にまで発展しました。食べ物をのどに詰まらせる事故は以前よりありましたが、これほど大々的に報道さ れることはありませんでした。一体、どんな食べ物がのどに詰まりやすいのでしょうか。

厚生労働省の調査(平成19年度)によると、食品による窒息事故の主な原因は

1位 もち

2位 米飯(おにぎりを含む)

3位 パン

4位 魚介類

5位 果実類

6位 肉類

7位 すし(海苔巻きを含む)

8位 あめ

9位 だんご

10位 カップ入りゼリー、流動食

飲み込みやすい食べ物

- ゼリー(果肉のない軟らかいもの)
- ■ポタージュ
- ■豆腐
- 具のない茶碗蒸し



など、咀嚼しやすくてトロミがついているもの

という順になりました。この他に、こんにゃく・イモ類などもあり意外に種類が多いということに気付きます。窒息事故 の当事者についてみてみると、男性が半数以上を占めています。年齢別では、一番多いのは80歳以上、次に65~ 79歳、45~64歳、1~4歳と続きます。この結果からわかることは高齢者と乳幼児が食べ物をのどに詰まらせやす いということです。但し、この他の年齢の方でも脳血管障害や神経疾患、口腔やのどの病気などで飲み込みの機能が 低下していると窒息事故を起こしやすくなります。「これ、食べにくいな」と思ったら少しずつ食べる、よく噛むことを お勧めします。そして窒息事故と同じくらい怖いのが「誤嚥(ごえん) |です。

でこで言う「誤嚥」とは「食べたものが食道ではなく気管に入ってしまった状態のこと」です。誤嚥が長期間続くと肺 炎を起こしやすくなり、最悪の場合死に至ることもあります。次のような症状が見られたときは速やかに専門医の診 察を受けてください。

- (日) お茶などを飲むたびにむせる。
- (月) 痰が多くなった。
- (火) 声がガラガラ声になってきた(特に食後)。
- (水) 飲み込んだとき、のどに引っかかるような違和感がある。
- (木) 発熱がよくある。または、微熱が続いている。

これらの症状がでていても、必ずしも飲み込みの障害とは限りませんが、安全に楽しく食べるために日頃から注意 してください。

この飲み込みの障害の訓練を担当するのが言語聴覚士です。他には聴覚障害、失語症などの言語障害、発音・発声 の障害(構音障害・音声障害)発達障害などコミュニケーションに関する障害全般を担当します。怪我や病気の後遺症 があっても日常生活が円滑に行なえるように、そのお手伝いを理学療法士、作業療法士と共に言語聴覚士も努力し てまいります。

護師募集



常勤看護師(夜勤のできる方)

新卒者、既卒者でブランクのある方も研修があり安心です。

■お問い合わせ

月~金曜日 8:30~17:00

TEL 028-673-2111 (庶務係へ)

いつざも 応じまあ

医療相談室(ケースワーカー)のご案内

ケースワーカー 永山悦子・宇梶多恵

病気になると、健康な時には考えなかったような問題や心 配事が色々と起こってくることがあります。このような時に患 者さまや御家族のお力になれるよう、専門の相談員であるケ ースワーカーがご相談をお受けしています。

私共ケースワーカーは患者さまの生活の質を第一に考え 、患者さまやご家族と『同じ視点・同じ立場』で、共に考えお手 伝いをさせて頂いております。

医療相談室は、お一人お一人の患者さまが安心して治療 に専念して頂けるよう、問題解決のお手伝いを行う場所です 。どうぞご気軽にご利用下さい!!



たとえばこんなとき・・・・・

- ☆ 医療費の支払いや今後の生活費など、経済的な不安があるとき。
- ☆ 介護保険制度のサービス内容や利用方法について知りたいとき。
- ☆ 転院先や施設を探したいが、どのようにしたら良いか、わからないとき。
- ☆ 障害年金等の社会保障制度について知りたいとき。
- ☆ 自宅療養にあたり、車イスやベット、訪問看護、ホームヘルパーなどの在宅サービスを利用したいとき。
- ☆ 身体に障害が残り今後の生活に不安があるとき。
- ※ご相談内容についての秘密は厳守します。ご相談をご希望の際は主治医・看護師にお申し出頂くか、直接医 療相談室へお立ち寄り下さい。電話でのご相談も受け付けております。

ご相談受付時間 月曜日~金曜日 8時30分~17時

医療連携室 TEL 028-673-2374(直通)

弁護士講演会

弁護士による講演会を実施して

管理課長 仁 平 正 行

平成20年10月8日(水)18時00分から第一会議室に於いて曙綜合法律事務所の 田中東陽 弁護士による「カ ルテ・看護記録などの記載ポイントと医療提訴」の演題による講演会を実施いたしました。この講演会は、沼尾院長が 院長研修会の折り高崎病院での弁護士による講演会が大変好評であり、職員の意識が高くなったとの情報を得て、 当院に於いても実施すべきとの話しがありました。関東信越ブロック事務所医療課に連絡を取り、ブロックの顧問弁 護士をしておられる田中弁護士を紹介していただき、演題及び日程の調整をして実施することになりました。講演会 は院長の挨拶、田中弁護士の略歴紹介、講演、質疑応答のスケジュールで実施されました。講演内容が演題のとおり カルテ・看護記録等にかかれている内容が訴訟になるとどう取り扱われるかなど、職員にとって興味のある内容であ り、大変盛況のうちに終了いたしました。特に、質疑が多く時間の関係で4名の質問のみとさせていただきました。参 加人数も医師、看護師、コメディカル(薬剤師、技師など)、事務の90人の参加がありました。講演後のアンケートの 結果を見ると、9割近い職員が「満足できた」、「職務に活かせる」との回答であり、大変意義深い講演になりました。 講演終了後幹部と田中弁護士との懇談を行い次回も是非開催したい旨田中先生にお伝えし、第2回講演会を平成 20年12月3日(水)に実施し、66名の参加がありました。







西6病棟

看護師長 神山淳子

西6病棟は重症心身障害児(者)病棟です。病床数40床で9歳から59歳と幅広い年齢の方が利用しています。

「患者様の生命を大切にし、個性を尊重した医療・看護・療育を提供します。」という理念のもと、医師・看護師・児童指導員・保育士たちが、それぞれの専門性を活かし、日常生活の支援と健康管理に努めています。また、岡本特別支援学校が併設されており、教育目標に沿って授業や校外学習も行われています。



私たち看護師は、特に患者様の安全確保と患者サービスの質向上に努めています。

患者様の入院生活では、保育士さんの発想豊かな療育活動が行われ、季節ごとには花見会、スポーツフェステバル、花火大会、クリスマス会など楽しいイベントを取り入れて御家族と共に楽しんで頂いています。 勿論、看護師も一緒になって楽しんでいることはいうまでもありません。



企画課

企画課長 牧野繁雄

当院企画課の構成は、会計部門、経営企画室、医療事務室の3つの部門から構成されています。

会計部門である業務班では、経理係、財務係、契約 係の3部門からなっています。

経理係では、資金管理、収益及び費用の執行計画、財務諸表の作成、決算処理などに関する業務を行っており、財務係では、債権及び債務に関する業務を行い、契約係では、医薬品・一般消耗品・医療用消耗品などの取得、保管、供用及び処分に関する業務、役

務(業務委託・保守契約等)、医療機器の購入に係る契約、物品の修理・保管・廃棄物の管理等に関する契約等業務を行っています。

経営企画室では、経営戦略である(中期計画·年度計画)の策定、フォローアップに関する業務を行っており、病院経営の中枢業務を担っています。

医療事務室では、診療契約、協定に関すること、入退院者、外来患者の受付及び案内、診療報酬明細書作成に係る統括業務、支払基金・国保連合会等診療費決定業務等多岐にわたる業務を担当しています。

当院では、平成18年9月より宇都宮病院改革プロジェクトを立ち上げ、「患者の目線に立った医療で病院の経営を健全化しよう」という、当院の歩むべき方向性を打ち出し、経営改善に職員一丸となって取り組んできた結果、徐々に右肩上がりの経営状況に変化してまいりました。

これからも、当院が確実に発展して行くよう企画課職員全員努めて参りますので、ご協力をお願いします。

病院ボランティアグループ募集

当院では、外来患者さまのご案内、院内外の環境整備(清掃・除草等)などの病院ボランティアをしていただける方を随時、募集しております。あなたのやさしさをお待ちしております。

問い合わせ先 管理課まで(内線:141)



国立病院総合医学会に参加して

看護師長 小 林 誠 子

第62回国立病院総合医学会が平成20年11月21・22日に東京国際フォーラムにおいて開催されました。今年のメインテーマは「医療の心を求めて」でした。

※合医学会は全国の独立行政法人国立病院機構の職員が一堂に会して、日頃の研究成果を発表したり、医療のさらなる充実を目指して討議をするものです。

宇都宮病院からは、田中副院長や増田外来診療部長の発表があり、宮本 栄養管理室長はシンポジウムの座長を務められました。私の勤務する西5 病棟(重症心身障害児(者)病棟)は口唇や歯肉の乾燥が著しい重症心身 障害児(者)の口腔保湿ケアに白ごま油を使用した研究を発表しました。口 腔ケアに関する研究は数多くありますが、ブラッシング技術の向上や安全



性の高い口腔ケア方法、自立に向けた関わり等でした。口腔乾燥に関するものは少なく、発表後も数々の質問を受け、持参した白ごま油の希釈スプレーや資料を手に取る様子から、その関心の高さを実感しました。

また、私は初めて座長を務めさせて頂きました。担当した演題は口腔ケアに関することと重症心身障害児(者)の栄養管理に関することでした。栄養管理については、重症心身障害児(者)の特性から、その管理と評価の難しさと栄養サポートチーム(NST)の関わりの重要性を理解することが出来ました。疑問や問題も明らかになりましたので、栄養管理室やNSTと連携できるよう積極的に働きかけ、その改善を図りたいと考えます。

今回一緒に参加した病棟スタッフの一人ひとりが個人として、宇都宮病院の一員として、機構病院の様々な研究を自分の目で見て、肌で感じ、刺激を受ける良い機会となりました。今後は看護ケアの充実、質の向上を目指し、新たな研究に取り組み、発表していきたいと考えます。

★ * ~ 素敵な夜の贈り物 ~

クリスマス ピアノ & バイオリンコンサー|

副看護部長 安里 磨智子

クリスマスが近い12月17日の夜、当院に素敵な贈り物が届きました。

外来ロビーに飾られたクリスマスツリーと中庭で輝くライトツリーの中、藤森晴子さん(宇都宮市在住)によるピアノと渡辺朋子さん(東京在住)によるバイオリンのコンサートが行われました。曲目は、『愛のあいさつ』『カヴァティーナ』『3つのアベ・マリア』『神のみ子は』『冬のソナタ』等、たくさんの楽曲を演奏していただきました。ホールにいるすべての人たちが、素敵な音色にウットリと聴き入っていました。

また、職員で結成されたハンドベル"がんばり隊"も出演し、『もろびとこぞりて』『アメイジング・グレイス』『聖夜』の3曲を演奏しました。練習不足ぎみではありましたが、観客の方々の暖かい拍手とアンコールをいただき、"がんばり隊"のメンバーの緊張していた顔もほころび、幸せな一時を過ごすことができました。

約1時間という短い時間でしたが、ホールにいた一人ひとりが素敵な時間をプレゼントされた夜でした。

X W - 4 W 2 2 2



#





編集後記

最近の口癖にもなっているのが、「寒いですね〜」。朝夕は冷凍庫並みの寒さが続いております。これだけ寒いとこたつから動けません。うっかりするとそのまま朝を迎えていることもしばしばです。寒い日が続いているので、皆様も体調には気をつけてくださいね。

今年もご意見や投稿など、ご協力お願いします。

診療放射線技師 久米 篤



表紙撮影:写真ボランティア 長谷川 勲 様

外来診療担当医表

平成 21年 1月 1日現在

診療科	名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合診療科(初診)						
内	科	沼尾 利郎	戸田 正夫	池野 義彦	岡田壮令(第1·3·5) 戸田正夫(第2·4)	戸田正夫
外	科	富沢 健二	富沢 健二	最上 恭至	最上 恭至	増田 典弘
糖尿病代謝内分泌	午前 科 午後	佐藤 稔 佐藤 稔	森 豊 太田 怜	加瀬 浩之 加瀬 浩之	佐藤 稔	太田 怜
神経内科		伊藤 雅史			椎葉 千恵	
消化器内科		小倉利恵子	菅谷 洋子	大木 了	小嶋和夫	菅谷 洋子
循 環 器 内 科			箕田紳一郎(第2·4)	伊藤 致		箕田紳一郎
腎 臓 内 科 (午後)[予約制]					岡田和久(第2·4)	
呼吸器科	再 診	岡田 壮令	沼尾 利郎	戸田 正夫	太田 真弓	鹿島 隆一
アレルギー外来	午 後	戸田正夫·池野義彦		戸田正夫·池野義彦		
小 児 科	午 前					
受付(午後) 14:00~16:00	午後		予 防 接 種 (小児)[予約制]		子供養育相談ルーム [予約制](第2·4)	
小児アレルギー外来 (午後)[予約制]					中野俊至(第1·3)	
小児神経外来(午後)		奥野 章(第3)				
	午前2診	増田 典弘	伊藤 知和	増田 典弘	増田 典弘	伊藤 知和
外 科	午後1診	富沢 健二	富沢 健二	最上 恭至	最上 恭至	最上恭至(隔週) 富沢健二(隔週)
	1 診	田中 孝昭	飯田毅博(新患のみ)		菊地 隆宏	熊谷 吉夫
整形外科	2 診	三檇 真		飯田毅博(第1·5) 三시 真(第2·4) 熊谷吉夫(第3)		三橋
リ ウ マ チ 科 (整形外科1診)				熊谷吉夫(第1·5) 田中孝昭(第2·3·4)		
リハビリテーション科				熊谷 吉夫	熊谷 吉夫	熊谷 吉夫
装 具 外 来		田中 孝昭				熊谷 吉夫
※耳鼻咽喉科(午後)			添田 弘			
※歯			渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	
禁煙外来(保険外診療) 午後		戸田 正夫		戸田 正夫		沼尾 利郎
物忘れ外来(完全予約制) 午後				伊藤雅史·椎葉千恵		
						永田万由美
皮膚科午後			嶋岡 弥生			

病院紹介

- 外来診療受付時間 8:30~11:00
 - 外科は、午後も診療を行っております(午後の診療受付時間 14:00~16:00)
- 耳鼻咽喉科、歯科に関しましては入院患者さまのみの診療となります。
- 眼科·皮膚科·物忘れ外来につきましては、地域医療連携室におきまして電話での予約を受け付けております。
- 眼科診療時間 9:00~12:00 皮膚科診療時間 13:30~16:30 物忘れ外来診療時間 14:00~15:00
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通) 担当 永山悦子(ケースワーカー)、宇梶多恵(ケースワーカー)



独立行政法人(NHO)

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160 三都宮病院 tel 028-673-2111 FAX 028-673-6148 http://www.hosp.go.jp/~utsuno/